

生け垣づくりポイント

1 生け垣をデザインしましょう。

ひとくちに生け垣といっても、その種類はさまざま。まず、どんな生け垣にするのかを考えましょう。

あなた自身が、生け垣づくりのデザイナーであり演出家です。5年、10年先まで見通した、しっかりとしたプランを立てましょう。

2 庭の空間をよく調べましょう。

うるおいのある、緑豊かな住まい・・・でも、家のまわりをむやみに樹木で囲むのも考えもの。

木は家族とともに育ちます。落ち着いた庭づくりを考えましょう。生長の度合として、葉張り(枝が横に延びる自然の広がり)が地下の根の広がりを目安です。

3 敷地境から20~30cm内側を、植える位置とします。

自宅建物と敷地境界との幅が、狭いところ(目安:1m20cm以下の場所)や、日の当たらないところは、植栽に好ましくありません。

4 竹垣(支柱)をつくりましょう。

苗木が根つき、丈夫に、かたちよく育てるには支柱は不可欠。杭を立てて、竹で横の支えをしましょう。

5 おとなりに面して植栽するときは、話しあってみましょう。

生長時には、刈り込みや、病虫害駆除の消毒など管理が必要です。また、道路に面したところも通行の支障にならないよう生育環境を維持します。

6 植栽場所が決まったら・・・

よく耕して、根の充分のびるよう土をやわらかくしてください。